

「デジタル時代のライフハック」

私たちは WGG というスタディーグループで福岡を中心に同世代の歯科技工士 5 人で活動を行っています。不定期に集まりプレゼンやディスカッションを通して、互いに切磋琢磨しています。

今回の講演会のテーマは「デジタル」です。CAD/CAM 修復や光学印象の普及により、歯科のデジタル化は急速に進んでいます。しかしデジタルの普及にはまだまだ差があり、歯科技工所によっては全くデジタルを導入していない歯科技工所もあれば、鑄造機もなくデジタル専門で営業している歯科技工所もあります。

私たちもデジタル技工は行っていますが、その環境は様々です。そこで今回はメンバー一人一人のデジタル環境を紹介するとともに、各自審美やインプラント、フェイススキャンやシェードマッチングツールを応用した症例、またフルマウスの様な大型補綴へのアプローチ方法やデジタルデンチャーへの取り組みなど、現在取り組んでいるデジタル技工について、テーマを決めてお話しさせていただきます。様々な切り口からお話しさせていただきますので、すでにデジタルを導入されている方はもちろん、今からデジタルを導入しようと考えておられる方にもご参考になれば幸いです。

「デジタル義歯で働き方改革を実現する」

近年、働き方改革が進む中、歯科技工士業界においても、業務効率化や生産性向上が求められています。その中で、デジタル義歯の活用は大きな可能性を秘めています。

デジタル義歯は、従来の義歯製作に比べて以下のメリットがあります。

- ・製作工程の省略
- ・精度の向上
- ・製作時間の短縮

当院では、5 年前よりデジタル義歯に取り組み、患者の満足度向上だけでなく、納期の短縮も実現しました。

本講演では、デジタル義歯のメリットと活用方法をわかりやすく解説し、今から準備を始めるためのヒントを提示することで歯科技工士の働き方改革を促すことを狙いとしています。

具体的に総義歯製作の事例を交えながら、デジタル義歯のメリットや活用方法、そして今から準備を始めるための方法について解説します。